

流れの起源を尊ぶ伝承者達が集いここに宴がはじまる
～悠久に舞い継ぐ～

第
39
回

御嶽流神楽大会



2026年

10/25 日曜日

《開演》午前8:45(予定)

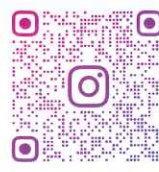
《当日》【中学生以上】500円 ステッカー(通行手形)

【観覧方法】全席自由 ※前日までの場所取りはご遠慮ください

神楽の里
能場公園
豊後大野市
清川町字田枝

◆ 出演団体

- ・板知屋俚楽 (臼杵市板知屋)
- ・城原神楽保存会 (竹田市城原)
- ・清川子ども神楽保存会 (豊後大野市清川町)
- ・緒方三社神楽保存会 (豊後大野市緒方町)
- ・竹の中神楽保存会 (由布市庄内町)
- ・御嶽神楽 (豊後大野市清川町)



@ONDAKEKAGURA

■主催：御嶽流神楽大会実行委員会 ■後援：豊後大野市／NHK大分放送局／OBS大分放送／TOSテレビ大分／OAB大分朝日放送／エフエム大分／大分合同新聞社／読売新聞西部本社／毎日新聞社
朝日新聞 大分総局／西日本新聞社／月刊・シティ情報おいた／九州旅客鉄道株式会社大分支社／豊後大野市観光協会／豊後大野市商工会清川支部／商工会青年部清川支部

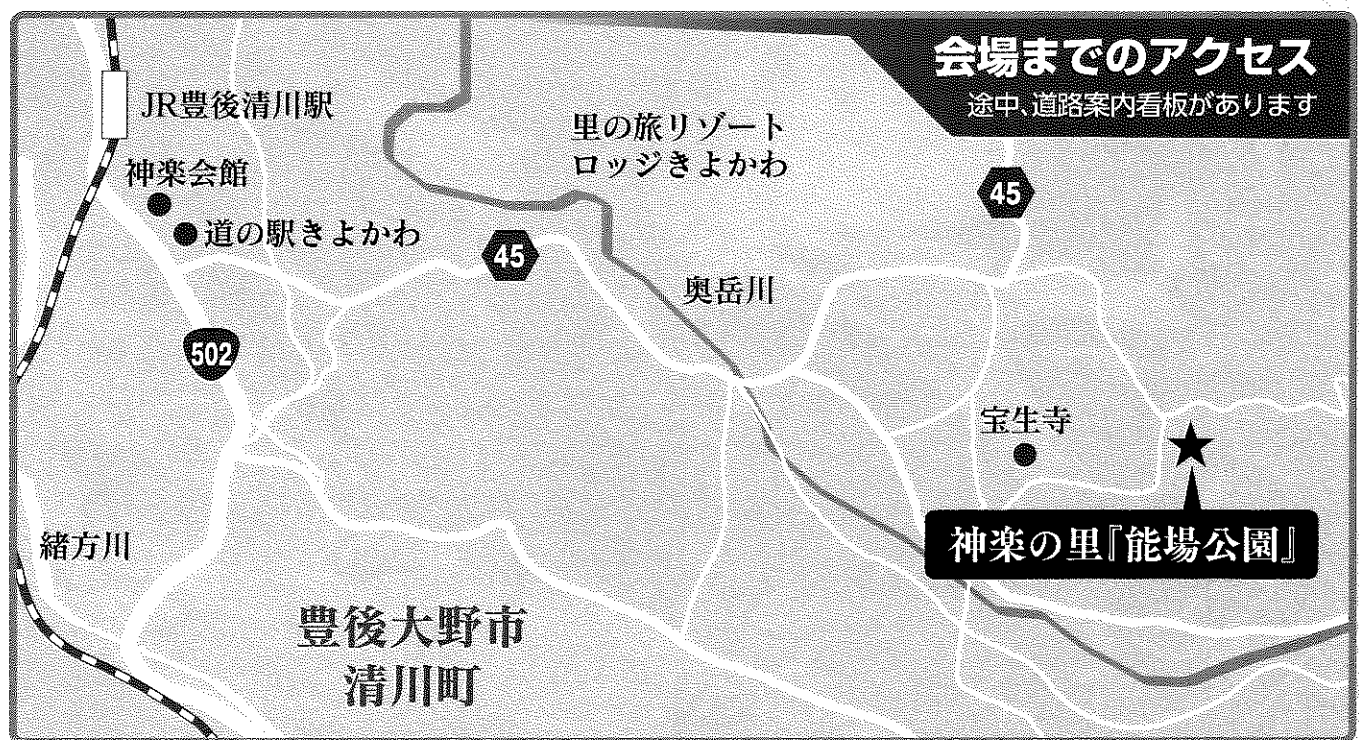
第39回 御嶽流神楽大会

「きよかわ」に伝わる『御嶽神楽』は、宝徳元年（1449年）に御嶽神社の創建と同じくして起った神楽とされています。

これまで永い間受け継がれ、この流れをくむ神楽は、大野・直入・県南、遠くは阿蘇地方まで伝わっています。平成19年には国の『重要無形民俗文化財』に指定されました。

このような「きよかわ」の風土が生んだ「神楽」という地域文化を、今一度見直し、神楽による地域活性化をめざして『御嶽流神楽大会』を昭和63年から開催してきました。その大会も今回で39回を数えます。

31回大会より秋の開催となった御嶽流神楽大会は、各地域の伝統文化が一堂に会する地域文化の結晶であり、『御嶽神楽』を中心に勇壮・華麗な舞を披露するとともに御嶽流神楽を未来へ繋ぐ「清川子ども神楽保存会」の華麗な舞も堪能してもらい、多くの神楽ファンを魅了し、地域の魅力を広く発信することを目的とし開催します。



■当日はJR豊後清川駅より往復でシャトルバスを運行致します

《JR豊後清川駅発～神楽会館経由（駐車場あり）～能場公園》

★出店（食べ物・飲み物各種）※お帰りの際には、ゴミの持ち帰りにご協力ください



※会場付近の駐車場には、台数に限りがあります。